



なかじま ひでお  
中島 英雄 さん(時田)

笑顔があふれる素敵な筑西市になるよう、奉仕の輪を広げていきたいですね。

## 下館巴ライオンズクラブとは

今回紹介する下館巴ライオンズクラブの渡辺和成会長、向田友之幹事、手面勇会計、高野久美子委員長にお話を伺いました。

今回紹介する下館巴ライオンズク



# We Serve!

## 下館巴ライオンズクラブ

みなさんが一度は耳にしたことがあるであろうライオンズクラブ。このクラブは1917年に発足し「We Serve (我々は奉仕する)」というスローガンのもと、200の国と地域に展開している世界最大の奉仕団体であるということはご存知でしょうか。市内にはライオンズという名称を持つ団体が4つありますが、みな同じスローガンのもと活動しています。今回は、その中でも会員数最多を誇る下館巴ライオンズクラブの渡辺和成会長、向田友之幹事、手面勇会計、高野久美子委員長にお話を伺いました。

クラブは1981年に発足し、今年で43年目を迎え、計48人の会員で活動する団体です。「クラブごとに力を入れて活動が異なり、私たちは献血活動や青少年育成事業に取り組んでいます。私は会員であった父がきっかけで入会しましたが、活動を通じて地元の仲間と繋がることができ、楽しく活動しています」と、渡辺会長は話してくれました。

## 社会に奉仕する地域の立役者

クラブの主な活動として、年3回行っている献血や献眼(アイバンク)、小中学生向けに薬物乱用防止教室を開催しています。「献血ではお礼の品の提供や、宣伝のためのポスター作成をしています。4万mlを目標に開催していますが、少しでも献血者を増やし、社会に貢献したいです」と話すのは向田さん。前回開催時には93人の献血者から、3万6600mlの血液が集まったそうです。「血液は採血後28日間しか持たず、献血の定期的な開催が必要です。私もクラブの一員として、地



ライオンズの頭文字“L”のポーズをとる高野委員長、向田幹事、渡辺会長、手面会計(左から)

域の人や職場の人に参加を呼びかけています」と献血の必要性について手面さんは教えてくれました。クラブ主催の献血は、毎回バス2台で行われることに加え、約100人もの献血者が集まるのは地域でも珍しく、地域のみなさんにはいつも感謝しているそうです。

そして今年度新たな取組みとして、FWT委員会を設置し活動の幅を広げています。FWTとはファミリーウーマンチームの略で、名前のとおり親子で楽しめる例会の開催や、女性経営者による講演会を企画しています。委員長を務める高野さんは「今後は小児がん患者の支援として、寄付された髪の毛でウィッグを作るヘアドネーションなどを行うとともに、女性メンバを増やしていきたいです」と、取組みに対する意気込みを語ってくれました。

## 取材を終えて

「一人では難しいことも、みんなで力を合わせればできます。筑西市に下館巴ライオンズがあつてよかつたと思ってもらえるよう、今後もより奉仕活動を充実させていきたいです」と、渡辺会長は今後の目標について力を込めました。みなさんも下館巴ライオンズクラブの活動を目にした時には、ぜひご協力をお願いします。

## 【愛の献血】

▼日時 11月6日(水) 午前10時～午後4時  
▼場所 市役所(本庁舎) 1階東側エレベーターホール

